



# 公立山城病院新聞

YAMASHIRO PUBLIC HOSPITAL

発行元 公立山城病院  
発行元責任者 中埜 幸治

## 新人紹介



小児外科副部長 佐々木 康成

平成23年4月より山城病院小児外科に勤務させていただくことになりました佐々木康成です。平成8年に京都府立医科大学を卒業し大学の小児外科に入局しました。生まれも育ちも京都ですが、山城地域はなじみがないため、地域に根付いた医療に貢献できるようにこれから開拓していきたいと思っております。何卒宜しくお願い申し上げます。



脳神経外科医長 辻野 仁

平成23年1月より脳神経外科に赴任しました。前任地は北海道の帯広で3年間勤務しました。帯広は道内でも気候が厳しい地域とされており多くの脳卒中患者の診療に携わりました。その経験を生かし地域の皆様に貢献できるよう頑張りますので宜しくお願い致します。



泌尿器科医員 井戸本 陽子

はじめまして。平成23年4月から山城病院に勤めることになりました井戸本です。これから中河先生・細井先生と一緒に泌尿器科・透析を担当していきます。泌尿器科の女性医師はまだ少ないですから、女性の患者さんにとっては泌尿器科は受診しづらい面があったかもしれません。尿もれなど、男の先生には相談しづらいなあ・・・という女性の悩みに、少しでも力になれるといいなと思っています。地域の皆さまのためにがんばっていきますので、これからよろしく宜しくお願いします。



眼科医員 木村 健一

平成23年4月から勤務させていただくことになりました木村健一と申します。平成15年に京都府立医科大学を卒業し京都府内の病院を複数異動してきました。前任地の明治国際医療大学(旧明治鍼灸大学)で東洋医学を学ぶうちにマクロビオティックに興味を持つようになり現在実践中です。穀物菜食中心の食生活、といっても今までの人間関係に支障のない範囲での実践なので例えば焼肉屋に行くこともしばしばあります。あまり厳格にやっていないので私はただ単に昔ながらの日本食を見つめ直しているだけなのかもしれません。近頃はずいぶん体が軽くなりとても心地よい毎日です。みなさんと一緒に明るく温かなひとときを過ごせることを楽しみにしています。



麻酔科医員 上林 昭景

はじめまして、平成23年2月から山城病院 麻酔科医員として勤務させていただくことになりました。安全で質の高い周術期医療の提供に全力をつくしたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。



外科医員 氏家 和人

平成23年4月から公立山城病院で外科医として勤務させていただきますこととなりました氏家和人と申します。平成16年に京都府立医科大学医学部を卒業し、神戸市の社会保険神戸中央病院などで研修をさせて頂いた後、この3月までは母校の京都府立医科大学附属病院で消化器外科医として勤務致しておりました。今は同じ木津川市となりましたが、出身地は山城町で、上粕小学校、山城中学校を卒業致しました。この度、生まれ育った地域の医療に携われることとなり、大変光栄なことですが、同時に身の引き締まるような思いも致します。どうぞよろしく宜しくお願い致します。



小児科医員 一瀬 栄佑

この度平成23年1月より小児科医として勤務させていただきます。山城病院では子どもたちの診療に当たりながら逆に此方が元気を頂く日々を過ごしております。至らない点も多々あるかとは思いますが、情熱を持って小児診療に従事したいと存じております。何卒宜しくお願い致します。



内科医員 白波瀬 真子

平成23年4月より勤務させていただきますことになりました白波瀬真子と申します。平成21年に獨協医科大学を卒業し、福知山市病院、京都府立医科大学で2年間の初期臨床研修を終了し、4月より当院に赴任いたしました。循環器内科を中心に内科全般の診療を通して、地域の医療にお役に立てればと思います。まだまだ未熟者ですが、よろしく宜しくお願い申し上げます。



○ 新入職員との集合写真 ○

紹介した医師の他に、研修医2名、看護師13名、作業療法士1名、言語聴覚士1名、診療放射線技師1名、事務1名の新規採用がありました。今後もよろしく宜しくお願い致します。



# 脳神経外科紹介

公立山城病院脳神経外科は現在、岩本、辻野、武内、藤田の4名の常勤医師(いずれも脳神経外科専門医)で入院および外来診療を行っています。

外来診察日は月・水・金の週3日で火曜・木曜は定期検査および定期手術日となつています。ただ手術は臨時および緊急手術が多数を占めます。

当科で扱う代表的な疾患は、脳腫瘍、脳血管障害(脳卒中)、頭部外傷、脊椎脊髄疾患、機能的疾患(三叉神経痛、顔面けいれんなど)です。

入院患者数、手術症例数ともに年々増加しています。当科が本格的な診療を開始してから丸9年が経ちました。その間地域の皆様の信頼を徐々にいただき、また他医療機関からの紹介患者様が増加しています。さらに診断技術、医療機器の進歩に伴う正確な病態把握および疾患発見率の向上などが相伴って手術症例数の増加に繋がっています。

と考えられます。当科では昨今の低侵襲手術重視の流れを受けて局所麻酔での手術、神経内視鏡やカテーテルを使った手術、脊椎脊髄(頸、腰)



脳神経外科部長 岩本 芳浩

の手術が特に増加しています。最新の高度医療機器が備わっており、これらを使用して安全確実な手術を心がけています。また特殊な疾患や手術法についてはその分野の専門医師を他院から招聘するなど、常に最先端の治療を行っております。手術を含めた治療法の選択にあたっては患者様および家族の方が納得されるまで十分に説明及び相談をさせていただきます。決定していただきます。

京都府では平成23年1月よりヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がん予防(ヒトパピローウイルス)ワクチンの接種助成事業が開始され、対象者はワクチン接種費用の全額公費助成を受けることが出来るようになりました。インフルエンザ菌b型や肺炎球菌は子供の化膿性髄膜炎などの重症感染症を引き起こす原因となる菌です。子宮頸がんは女性特有のがんの中では乳がんに次いで2番目に多く、特に20~30代の女性においては発症するすべてのがんの中で1番多い病気です。その原因としてヒトパピローウイルスによる感染で発症する場合がございます。このようにインフルエンザ菌b型や肺炎球菌、ヒトパピローウイルスは恐ろしい病原体で予防接種する意義は非常にあります。しかし今年の3月に、報告によれば因果関係は評価不能又は不明とされていますが、小児用肺炎球菌ワクチン及びヒブワクチンを含むワクチン同時接種後の死亡例が7例報告されたため、厚生労働省が至急調査を行いました。

情報収集し専門家による因果関係の評価を実施するまでの間、接種を一時的に見合わせることにりましたが、安全性上の懸念はないとされ

# 小児の予防接種助成について

京都府では平成23年1月よりヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がん予防(ヒトパピローウイルス)ワクチンの接種助成事業が開始され、対象者はワクチン接種費用の全額公費助成を受けることが出来るようになりました。

インフルエンザ菌b型や肺炎球菌は子供の化膿性髄膜炎などの重症感染症を引き起こす原因となる菌です。子宮頸がんは女性特有のがんの中では乳がんに次いで2番目に多く、特に20~30代の女性においては発症するすべてのがんの中で1番多い病気です。その原因としてヒトパピローウイルスによる感染で発症する場合がございます。このようにインフルエンザ菌b型や肺炎球菌、ヒトパピローウイルスは恐ろしい病原体で予防接種する意義は非常にあります。しかし今年の3月に、報告によれば因果関係は評価不能又は不明とされていますが、小児用肺炎球菌ワクチン及びヒブワクチンを含むワクチン同時接種後の死亡例が7例報告されたため、厚生労働省が至急調査を行いました。

ため、4月1日から接種再開となりました。

それぞれの接種スケジュールは次の通りです。

ヒブワクチンは生後2カ月以上7カ月未満に開始すれば1期で3回と概ね1年後の追加接種の計4回、生後7カ月以上1歳未満に開始すれば1期で2回と概ね1年後の追加接種の計3回、1歳以上5歳未満に接種する場合は1回接種です。

小児用肺炎球菌ワクチンは生後2カ月以上7カ月未満に開始すれば1期で3回と生後12カ月頃に追加接種の計4回、生後7カ月以上1歳未満に開始すれば1期で2回と60日以上の間隔をあけて生後12カ月頃以上2歳未満に開始すれば1期で1回と60日以上の間隔をあけて追加接種の計2回、2歳以上5歳未満に接種する場合は1回接種です。

子宮頸がん予防ワクチンは10歳以上の女性で初回接種の後、1カ月後と6カ月後にそれぞれ1回接種の計3回です。それぞれのワクチンは各自治体によって対象年齢と接種医療機関が決められています。接種希望される方は一度かかりつけ医に御相談してみてください。

小児科 若泉 克次

# 京都府緩和ケア研修会を開催しました

当院は京都府がん診療連携病院の指定を受けており、今年度から、がん診療に携わる医師を対象に緩和ケア研修会を開催しております。1月29日、30日の2日間にわたって開催したこの研修会は、がん対策基本法に基づいて策定された『がん対策推進基本計画』において、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により緩和ケアについての基本的な知識を習得する」ことが目標として掲げられていることを踏まえ、治療の初期段階から緩和ケアが提供されるようにすることを目的に行っております。



内容は、講義形式の研修に加え、実地に生かせる知識の習得を目的として、症例等を用いた演習と討論を含むワークショップなどの研修です。また、グループ演習では、知識や技能を効果的に修得するため、がん告知等のロールプレイングなども行われました。

参加は当院の医師だけではなく、地域の医院、診療所の先生や看護師の方々、訪問看護ステーションの看護師の方等多数ご参加いただき、難しい内容だったが、大変勉強になりました。好評をいただきました。

当院は今後も年1回当研修会の開催を予定しており、地域住民の皆様により良い医療を受けていただきたいと思います。お待ちしております。



# 臨床検査科紹介

臨床検査は、病気の有無や診断、又は治療経過を見ていくうえで大変重要で欠かせないものとなってきています。病気を早く見つける、病気の状態を把握するには、医師をはじめ病院職員が常に目を配っていますが、我々、臨床検査技師も少しでもお役に立てるよう努めています。

当院臨床検査科には、臨床検査技師11名(1名は午前中のみ)のパートタイムが所属し、「患者さんに必要なデータをより迅速に提供し、常に最新の知識及び技術を持ちチーム医療を行い、地域医療における臨床検査の必要性を啓蒙する」という理念のもと日々業務に励んでいます。



**【臨床検査とは・・・】**  
臨床検査は血液・尿・便などの患者さんから採取された検査材料をもとに分析測定を行う臨床検査と直接患者さんに接して行う生理機能検査の大きく2つに分類されます。

**【検体検査とは・・・】**  
検体検査は血液から貧血の有無、炎症の有無などの指標となる白血球・赤血球・血小板の数をはじめ肝臓や膵臓、腎臓など様々な臓器の機能の指標となる検査や、感染症・血中薬物濃度・腫瘍マーカー・ホルモンに加え、アレルギーなどの検査も実施しています。  
その他、尿、便などをはじめとする様々な検体を用いて数多くの検査項目を実施しています。これらの検査の多くを24時間いつでも測定し、臨床に貢献できる様に努力しています。

また、手術中に病理細胞診断が必要な症例については、遠隔顕微鏡画像転送システムを用いて手術中の主治医と他施設の病理指導医とで診断し、手術方針を決定していく遠隔病理細胞診断にも携わっています。これは厚生労働省の研究の一つでもあり、一昨年にはテレビニュース番組でもとり上げられました。

**【生理機能検査とは・・・】**  
生理機能検査では、心電図検査をはじめ心臓や腹部などの超音波検査、また、睡眠中に何度も息が止まった状態が繰り返される病気(睡眠時無呼吸症候群)の検査を行



うなど、その種類は多岐にわたっています。その他当院で出生された新生児には新生児聴覚スクリーニング検査も実施しています。また、心臓カテーテル検査や脳神経外科の術中検査等にも積極的に参加しています。

その他にも、臨床検査技師の知識を生かして、NST(栄養サポートチーム)やICT(感染対策チーム)をはじめ、様々なチームに参加し、医師、看護師をはじめとする多くの医療スタッフと協力してチーム医療を行っています。

私達は山城病院的患者さんのもとより地域の医院よりご紹介のあった患者さんや健康診断などで来られた方など、臨床検査をお受けになるすべての方に、より早く、より多くの検査情報を正しく提供できるように日々努力を重ねています。

また、当院臨床検査室では、医療安全の確保、診療部門への支援を行うために検査システムをいち早く導入し全ての検査結果を電子化して運用し、またそのデータすべてを永年保存する事でいつでも素早く利用していただけるよう工夫しています。地域住民の皆様の検査データを生まれた時からすべて保管し、『あの検査室には自分のカラダに関する検査データがすべて揃っている』という信頼を得て、地域住民の皆様にとって一番の「かかりつけ臨床検査室」として永遠にご利用いただけるようより一層努力していきます。

# 春の消防訓練

去る2月25日院内消防訓練を7階病棟出火との想定で実施しました。

今回の訓練では、夜間人員の少ない時間帯で、かつトイレでの火災発生を想定し限られた人員で効率的に火災場所を調査・確定したうえで、いかに早く火災現場からの避難誘導を行い、消防署へ通報することを目的として訓練しました。また、火災発生時に重要となる初期消火・避難誘導の訓練もあわせて行いました。

のもと、火災現場の調査・確定や火災発生連絡を防災センターへ連絡し、連絡を受けた防災センターは自動通報装置で消防署に、通報を行いました。  
また避難誘導訓練では、患者さんを火災発生現場から安全な場所へ誘導しました。初期消火訓練では、消火栓からのホースの延長、消火器による模擬消火をしました。  
今後も職員が病院の構造を熟知し、防災機器に慣れ、訓練の充実を通じてより安全で安心な病院づくりを目指していきます。

山城病院の各病棟ではそれぞれ7つの防火区画に区分されており、他区画に延焼しない構造となっております。火災が発生すると煙を感じし自動的に防火戸、防火シャッターや、煙の拡散を防ぐ垂れ壁が作動し防火区画を形成することを熟知した上で、火災訓練に取り組まれました。

各病棟・防災センター・介護老人保健施設やましろ・警備の人たちが、警報と同時に火災現場の7階ナースステーションに集合し訓練を開始しました。

訓練では、7階リーダーの指揮





# 平成23年 新年度診療担当医一覧

・全科予約にて診療しています(小児科一般外来及び急患は除く)  
 ・予約をされていない方の受付時間は、午前8時30分から午前11時30分までです。  
 ※整形外科は平成22年7月より、週3回(月・水・金)の非常勤医師による予約のみの外来診察となっております。  
 ※耳鼻咽喉科は平成22年9月より、週3回(月・水・金)の非常勤医師による外来診察となっております。  
 ※平成23年4月1日現在のため、変更がある場合がございますので、ご了承ください。  
 (詳しくは、当院ホームページ <http://www.yamashiro-hp.jp> の「外来担当表」をご参照ください。)

平成23年4月1日現在 午後診察です

診療科		月	火	水	木	金
内科 代謝内分 循環器科 消化器科 呼吸器科 リウマチ科	1診	中 埜 代謝・内分泌	坂 上 ◎新 患	中 埜 代謝・内分泌	岡 田 代謝・内分泌	岩 城 一般
	2診	赤羽目 循環器	富 安 循環器	赤羽目 ◎新 患	小 沢 呼吸器・血液	
	3診	堤 ◎新 患	和 田 膠原病・リウマチ	河 村 一般	和 田 膠原病・リウマチ	
	4診	黒 田 消化器	新 井 消化器	黒 田 消化器	山 口 泰 消化器	
	5診			堤 循環器	石 破 ◎新 患	消化器
神経内科		能 登	安 田			荒 木
小児科 午前		担当医	八 木	辻 井	若 泉	一 瀬
特殊外来(午後予約制)		アレルギー外来 予防接種	循環器 予防接種	小児神経	乳児検診	慢性疾患
外科 午後 (13:30~15:00)	1診	菅 沼	山口明	菅 沼 1・3週	山口明	菅 沼
	2診	—	氏 家	今 津	伊 藤	—
	3診	小 池	中 井	小 池	佐々木 (小児外科)	中 井
	1診	菅 沼 (消化管)	山口明 (肝)	菅 沼 (消化管) 1・3週	—	—
	2診	今 津 (小児外科)	—	今 津 (小児外科)	伊 藤 (呼吸器)	—
	3診	—	中 井 (乳腺、内分泌)	加 藤 (呼吸器)	—	中 井 (乳腺、内分泌)
整形外科		中河庸	—	木 田	—	岡本慎
脳神経外科		武 内	—	岩 本	—	辻 野
皮膚科		北 川	—	小 森	—	花 田
泌尿器科 (透析)	1診	中河裕	細 井	中河裕	細 井	中河裕
	2診	井戸本 新患・予約外	—	—	—	井戸本 新患・予約外
産婦人科	1診	澤 田	前 田	澤 田	戸 崎	澤 田
	2診	戸 崎	—	戸 崎	前 田	前 田
眼 科	1診	吉 田	菌 村	菌 村	菌 村	菌 村 第2・4週
	2診	—	木 村	木 村	木 村	木 村 第1・3・5週
耳鼻咽喉科		新井啓	—	蒔 拔	—	瀧

## 看護の日 健康フェスタ 2011

5月12日は看護の日です  
 ナイチンゲール生誕にちなみイベントを企画しました

と き：5月12日(木) 9:00~12:00

と ころ：公立山城病院 1階 正面受付前

内 容：☆健康チェック

(身長・体重・体脂肪・血圧・血管年齢・骨密度)

☆手洗いチェック

(ご希望のかたはタオルをご持参ください)

☆乳がん自己検診の模型が展示されます

☆各種パンフレット配布

☆記念品配布

対象者：通院・入院中の方やご家族さま

および地域にお住まいの方



問い合わせ

公立山城病院 0774-72-0235

ホームページ <http://www.yamashiro-hp.jp/>

※お車で越しの方は第2駐車場をご利用ください



## 定年退職者あいさつ

早いもので、山城病院に勤めてからももう定年を迎える年となりました。このたび退職にあたり37年間を振り返ってみると、嬉しかったこと、苦しかったこと、悲しかったこと、いろんな場面が思いおこされます。失敗して落ち込んでいた時に温かく指導し見守ってくださった上司の事も忘れたいです。私は今までの人生の3分の2は山城病院でお世話になりました。出産し、子供も社会人となり、両親、主人も見送りました。今は義理の両親と私と3人暮らしです。今日まで勤められたのも両親のお蔭だと感謝しております。又、内科、小児科、整形外科、眼科、産婦人科等いろいろな医事課業務を勉強させていただきました。最近、患者さんから「いや、まだ居てくれたん嬉しいわ」とか「出産の時お世話になって子供がこんなに大きくなりました。」等いろんな人から声を掛けてくださいます。とても幸せな気分になります。これも皆様の温かいご指導とお力添えのお蔭でこの日を迎えることができ心から感謝しております。本当にありがとうございました。

事務部医事課患者サービス推進室長 畑上 多美江

准看護師 竹村 良子 准看護師 豊島 しづか

平成22年度の定年退職者は3名でした、長い間ご苦労様でした。